

サンタさんへの お願いなあに？



12月1日
「サンタ列車」出発式

します

容器包装リサイクル法は まったなし!!



◀モデル地区の小川町の様子
みんなが積極的に取り組み、
きちんと仕分けされている

みなさんは、
容器包装リサイクル法
という法律をご存じですか？

正式名称を「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」といいます。

現在、日本中で大量のごみ
が排出されています。このご
みをこれ以上増やさないため
には、ごみの中からリサイク
ルできる「容器包装ごみ」を
分別して、資源として再利用
していくことが必要です。

「容器包装リサイクル法」は、
容器包装ごみのリサイクルを
すすめるために平成十二年四
月に完全施行されます。

☆容器包装とは？

商品を含んでいる容器や包
装のことで、商品を使った時
点で不要になるものことで
す。

例
え
ば

びん飲料・缶飲
料を飲むと



牛乳を飲むと



ミネラルウオー
ターを飲むと



買い物のときの
ビニール袋は



あきびん・あき
缶が残る



紙パックが残る



ペットボトルが
残る



中身を取り出す
と、ビニール袋
が残る



これらが容器包装です。



平成12年4月1日から

5分別収集がスタート

容器包装

リサイクル法のしくみ

この法律では、消費者、市町村、事業者の三者それぞれが役割分担し、相互に協力し合って容器包装廃棄物の再商品化を図るしくみとなっています。

☆それぞれの役割とは？

消費者

容器包装ごみを分別して排出します

町

分別収集して事業者に引き渡します

事業者

町から容器包装ごみを引き取り、再商品化します

☆金木町では、何種類に分別するの？

- ① ペットボトル
- ② 缶類
- ③ びん類
- ④ その他の燃やせないごみ
- ⑤ 燃やせるごみの五種類です。

☆「再商品化」とは？

リサイクルしやすい状態になった容器包装ごみを、原材料や製品として他に売れる（または自らが使用できる）ようにすることをいいます。

再商品化されることで、ペットボトルはバインダーやファイバーなどの文房具、洗剤のボトル、ワイシャツなどにリサイクルされます。また、ガラスびんはびんの原料やガラス製品、建設資材などに生まれ変わります。



れ変わります。

このような、再生品を利用するのも私たち消費者の役割です。

モデル地区の

小川町では

町では、小川町地区の協力で、この七月からモデル的に分別排出に取り組んでいます。五か月経った現在、どのような状況で行われているか、町内会の方に聞いてみました。

○分別は慣れましたか？
慣れました。町内会全体でも、うまくできています。

○分別排出についてどう思いますか？
法律で決められたことだし、環境のためにも守らなければならぬと思います。

○分別排出について、どのように取り組んでいますか？
町内会ぐるみで、お互いに気をつけ、注意し合いながら分別しています。

○これから始める町民のみなさんに一言
初めは少し面倒かもしれませんが、慣れれば平気です。みんながんばりましょう。

みんなの力で

リサイクル

平成九年に完成した当町の一般廃棄物最終処分場も、このままでは予定の平成二十三年度を前に満杯となってしまう。ごみの問題は、処分場の延命化を図るためにも、私たち一人ひとりをもっと自覚し、町内会など地域ぐるみで取り組んでいかなければならない深刻な問題です。

初めは面倒に思うかも知れませんが、皆さんが決められた分別排出をすることで、資源の有効利用はもとより環境保護にも役立つのです。皆さんのご協力をお願いします。（次のページに資源ごみの分け方、出し方を掲載）

混ぜればごみ

分ければ資源

ごみの減量化・資源化・再生利用に努めましょう

ペットボトル

◎種類 (ペットボトルとして出すもの)

飲料類	炭酸飲料、果汁飲料、ウーロン茶、紅茶、 コーヒー、スポーツドリンク、 ミネラルウォーター、日本茶、麦茶、その他
酒類	焼酎、本みりん、洋酒、清酒、その他
しょうゆ	しょうゆ

このマークの
ついているも
のだけを出し
てください。



※しょうゆ以外の調味料 (たれ、ソースなど)、食用油、非食品 (洗剤、シャンプー、化粧品、医薬品など) のボトルは燃やせないごみへ出してください。

- キャップをはずす (キャップは燃やせないごみへ)
- 異物を取って、よくすすぐ
- 足で踏みつぶす



町指定のごみ袋に、ペットボトルだけ入れて出してください。

缶類

◎種類 (缶類として出すもの)

菓子缶、ジュース・ビール缶、缶詰、酒缶、食用油缶、ミルク缶、ペットフード缶など

※18ℓ以上の缶は燃やせないごみとして出してください。

- 異物を取り除く
- 中身をすすぐ



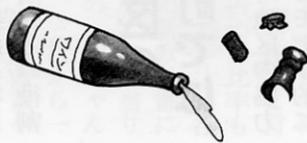
町指定のごみ袋に、缶類だけ入れて出してください。

びん類

◎種類 (びん類として出すもの)

ジュースびん、洋酒びん、みりん・酢のびん、調味料のびん、コーヒーのびんなど

- キャップをはずし、よくすすぐ



リターナブルびんは販売店へ

リターナブルびんとは、
ビールびんや一升びん、牛
乳びんなど、洗うだけで何
度も繰り返し使用できる規
定サイズのびんのことです。
これらは買ったお店に引き
取ってもらいましょう。



町指定のごみ袋に、びん類だけ入れて出してください。

《ペットボトル、缶類、びん類の集める曜日および地区》

毎月第2・第4回目の水曜日…金木・川倉・藤枝・蒔田・神原・沢部

毎月第2・第4回目の土曜日…嘉瀬・中柏木・喜良市・更生

☆各種類ごとに町指定のごみ袋 (青色の袋) に入れ、これまでどおり町内名、氏名を書いてください。

☆資源ごみで出せないものは、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」として分別してください。

☆資源ごみ以外の「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」はこれまでどおりの収集日です。

お問い合わせは、健康福祉課まで 53-2111 内線218

森林技術学ば

中米から技術者

このほど「日本の森林・林業に関する政策、造林技術及び森林の荒廃復旧技術等を学ぶ」目的で来日していた海外研修生三名が当町を訪れ、二日間にわたり研修を行いました。

研修に訪れたのは、中米ドミニカ国の国家森林技術委員会ラモン・ディアス技術部長とホセ・バエス技術副部長、

ホンジュラス国の森林開発公社のルディ・タラベナ流域管理室長の三名。

津軽森林管理署金木支署（署長＝村尾慎一郎）の案内により役場庁舎を訪れた一行は、鳴海町長にあいさつした後、管内の国有林で人工林・天然林の施業地や治山工事現場を見学しました。

熱心に技術を学んでいた研修生らは「日本の森林を参考にし、技術を国内に広めたい」と語っていました。



▲鳴海町長を表敬訪問した一行

♪音楽発表会

幼・小・中が一堂に会し

金木町小中学校長会主催の第六回金木幼小中学校音楽発表会が十一月十日、園児・児童・生徒二百八十一人が参加して金木中学校体育館で開催されました。

開会式では、実行委員長の長谷川正夫金木中学校長のあいさつに続き、鳴海町長が「芸術の秋にふさわしい発表会。音楽に感動する心、協力し合う心を養ってください」と祝辞を述べました。

金木幼稚園の年長組による元気な鼓笛演奏からはじまり、各小・中学校の児童、生徒たちが合唱や吹奏楽を次々と披露。川倉小学校全校児童による合唱や喜良市小学校の津軽三味線演奏など、今まで練習してきた成果を発揮しようという心一つに音を響かせていました。子どもたちの発表に、集まった約百五十人の来賓、父兄からは大きな拍手が送られていました。



▲金木小学校3～6年の吹奏楽演奏

大好評

男の料理教室

食生活改善推進委員会

金木町食生活改善推進委員会（会長＝青山ユキ）による第四回「男の料理教室」が十一月一日、保健センターで開かれました。

教室には、三十二歳から八十二歳までと幅広い年齢層、金木警察署長や元小学校長など様々な職業と経歴の男性が参加。この日は、さんまの蒲焼き、みそ風味けんちん汁、きゅうりときのこのキムチ風、いろいろ野菜の甘酢漬の四品の献立に挑戦しました。

初めは戸惑い気味だった参加者たちでしたが、中には自炊している人もいて、包丁さばきはなかなか。推進員の指導を受けながら、野菜や魚の下ごしらえ、味付けなど手際良く調理していました。盛りつけは、男の料理らしく豪快な人もいれば、見た目のきれいに気を遣う人もいて様々。

出来上がった料理を早速試食した参加者らは「とてもおいしく出来ました。今度は、家族のために作ってみます」「料理を覚えたくて参加しました。次回もぜひ参加したい」と話し、自分の作った料理のできればえに大満足の笑みを浮かべていました。



▶意外と(?)慣れた手つきで調理する男性参加者

音楽を満喫

オールディーズ パーティー



▶熱気あふれるステージに
心も体も踊る

金木町青年活性化推進委員会（会長 成田剛寛）主催の「カナギオールディーズパーティー」が十一月二十日、中央公民館で開催されました。「懐かしの音楽にのせて、みんなで楽しもう」と、町内外から親子連れや同僚など約百二十人が集まりました。ラ

イブハウスを思わせる会場内ステージで迫力あるバンドの演奏が始まり会場内が盛り上がりつつあると、広く設けられたダンススペースでは、たくさんの人たちが音楽に合わせて楽しく踊っていました。また、飲食コーナー、ケーキやワインなどが当たる「ドキドキ抽選会」などの催しも行われ、初めて参加した女性は「食べて、飲んで、バンド演奏も最高！また参加したいです」と話していました。

ひと足早いクリスマス「サンタ列車」



▶子どもたちに大人気！
赤いハンチャのサンタクロース

かなぎサンタ・フェスティバル実行委員会主催の津軽鉄道（社長 三和満）「サンタ列車」が十二月一日に運行され、招待を受けた第一・第二保育所の年長組三十三人が「赤いハンチャのサンタクロース」と少し早めのクリスマスを楽しみました。

津軽五所川原駅で行われた出発式では、角田助役と三和社長があいさつした後、園児らが「この日を楽しみに待っていました。サンタのおじさんとたくさんお話したいので

す」とサンタクロースにあいさつしました。

テープカットが行われた後、園児たちはまつ赤なサンタ列車に乗り込み金木駅へ出発。車内では、「お願いカード」に「テレビゲームのソフトが欲しい」「させかえ人形が欲しい」など、それぞれの願い事を書いてポストに投かんしました。サンタクロースから一人ひとりにお菓子のプレゼントが手渡されるとニコニコ顔の園児たちは、サンタクロースと握手したり、元気良くクリスマスソングを歌い大喜びしていました。

勤労感謝

園児らが職場訪問

第一保育所の三才児以上六十二名が十一月十八日、老人保健施設・サンライフ金木の職場訪問を行いました。

十一月二十三日の勤労感謝の日を間近に控え、サンライフ金木で働く六十人の職員らを激励しようとしたもので、今回は施設訪問も兼ねての訪問となりました。

はじめに、園児たち全員で「毎日お仕事ご苦労様です。これからも頑張ってください」と職員らを激励。入所者の方々へも「元気で長生きしてください」と声を合わせてあいさつしたあと、花束を手渡し

ました。この後、早速園児らがかわいらしい衣装に身を包み、歌やお遊戯を披露。職員や入所者の方々は大きな拍手を送り、園児らとの楽しいひとときに普段の疲れをいやしていました。

また、金木幼稚園（園長 片岡八千雄）の年少組の園児十一人も二十二日、職場を訪れ、鳴海町長に「お仕事ご苦労様です」と元気よくあいさつ。園児を代表して中谷りなちゃんの花束を手渡すと、鳴海町長は「みなさんのおかげで疲れがとれました」とお礼を述べていました。

第一保育所



▲「お仕事、ごくろうさまです」と
元気よくあいさつ▼



金木幼稚園